

大東文化大学 経営研究所 第14回 経営シンポジウム・経営学会研究報告会 同日開催！！

「経営学における研究方法の新たな展開」



(Approaches to Management Research-Quantitive, Qualitative, Mixed Methods)



このシンポジウムは、経営学に対する様々なアプローチとその背後にある哲学を明らかにし、そこから何を探し当てることができるのかをテーマとしています。なお、本シンポジウムは学生、社会人どなたでも参加可能(参加費無料・登録不要)です。

開催日時：令和元年12月14日(土曜)13:00~17:00 (12:45 開場)

開催場所：大東文化大学3号館1階 30111講義室

(都営三田線西台駅から徒歩約10分) 参加費：無料

開会挨拶(13:00-13:10)	門脇廣文 大東文化大学学長	
基調講演(13:10-14:40)	“The Truth about Grounded Theory: Myths, Preconceptions, and Why Grounded theory is useful.”	
	日本では、統計分析を用いた企業研究が経営学の主流となっています。しかし、「データ」によって与えられる像は一面に過ぎません。今後、統計の数値の背後にある意味を質的研究ないし質と量を交えた手法によって探り出していくことが重要になっていくでしょう。	 Grounded Theory for Qualitative Research A Practical Guide Cathy Urquhart
	By Professor Cathy Urquhart	
	(Department of Operations, Technology, Events and Hospitality Management (OTEHM) Manchester Metropolitan University Business School) 通訳：佐藤千恵子 (株式会社書香)	

ゲスト講演(14:50-15:50)	“マネジメント研究への招待-研究方法論の選択-”	
	By Professor Toshiko Suda (須田敏子教授) (青山学院大学国際マネジメント研究科)	
	“Justify your research methodology” (あなたの研究方法論を正当化せよ) すべての研究はここからスタートする。以上のように社会科学の研究において、重要な研究方法ですが、日本では重要視されていないのが現実です。本講演では、いかにして研究方法論を正当化するかを解説します。	

パネルディスカッション(16:00-17:00)

「経営学における研究方法の新たな展開」

パネリスト		パネリスト兼司会		パネリスト	
	木嶋恭一 大東文化大学 経営学部 特任教授		Darren M. McDonald 大東文化大学 経営学部教授 経営研究所所長		樋渡淳二 大東文化大学 経営学部教授 経営学研究科専攻主任

2019年度経営学会研究報告会

9:20~12:00 学習成果発表会

12:00~12:45 経営学会総会

研究報告会会場 (30111, 30103, 30110, 30112)

シンポジウム、研究発表会詳細スケジュールは以下のアドレス(またはQRコード)を参照ください。

<http://bit.ly/2NU06JC>



午前中は経営学部学生の
成果発表会も！

主催：大東文化大学経営研究所
共催：大東文化大学経営学部・大学院経営学研究科
協賛：大東文化大学経営学会
後援：(一社)国際ICT利用研究会
連絡先：大東文化大学 経営学部事務室
TEL:03 - 5399- 7462